

3) 第5, 6 学年総合的な学習の時間「マスメディア探検隊」単元構想表 (全61単位時間)

※ 評価欄の項目は 参考資料 1) に対応

次	時	活 動 の 流 れ	子どもの意識の流れ	教師の支援	評価
第1次 テレビ観察	1,2	テレビに対する自分たちの見方・考え方をまとめ、それをもとにテレビ観察を行う。 ・テレビ観察の際の視点を持ち、グループ編成をする。 〈テレビ観察Ⅰ〉	・テレビと聞いて連想することは何かな ・バラエティやアニメはよく見るな ・タレントや出演者のことが思い浮かぶな ・見出しを参考にして、観察の視点を考えよう ・〇〇についてテレビ観察をしよう	・カード発想法を使って様々なイメージが抽出できるようにする。 ・イメージを集約する際似ている項目がまとめやすいような壁面掲示をする。 ・観察の視点がもてるように、項目に見出しを付ける。	表現⑨
	3,4	テレビ観察の結果を交流する。 ・グループごとに観察結果を報告する。 ・観察の視点をはっきりさせて、もう一度テレビ観察をする。 〈テレビ観察Ⅱ〉	・自分と他の人の観察結果を比べてみよう ・同じ視点でも、いろいろな見方があるな	・テレビ観察の結果を出し合って、観察の視点を明確にする。	
	5,6	ミニ発表会に向けて、観察結果をグループごとにまとめる。	・全員の観察結果をすっきりとまとめるにはどうすればいいだろう ・キーワードをうまく使おう ・大きい字や見やすい色を心掛け、分かりやすい資料を作ろう	・模造紙にまとめる際字の大きさや色など、見る側に分かりやすい発表資料になるよう支援する。 ・大事な内容を考え、取捨選択ができるよう支援する。	
	7,8	ミニ発表会をして、テレビについて自分たちが調べたいことを明確にする。	・自分のグループと他のグループを比べながら聞こう ・ちがう観察グループでも、似ている点がある ・テレビの中の工夫はちがうジャンルの中にも共通するものがある ・観察の結果をもとに、これから調べていく視点をまとめよう	・グループごとの発表要点が分かりやすい掲示を心掛ける。 ・幾つかの発表ごとに疑問点、類似点はないか投げ掛け、グループごとの内容を比較、検討できるようにする。 ・発表を相互に比べ、共通する問題を見つけることができるように掲示・板書・発問を工夫する。	問題の発見と計画 ⑬⑭

次	時	活 動 の 流 れ	子どもの意識の流れ	教師の支援	評価
第 2 次 テ レ ビ の 仕 組 み メ デ ィ ア の 仕 組	1,2	プロジェクト学習の目的、到達点を確認する。 ・情報を正しく読みとれる、賢い視聴者になろう。 ・自分たちの手で「番組制作・Webページ制作」をする。	・テレビの情報に振り回れないようにしよう ・自分で判断することが大事なんだな	・テレビの情報に振り回されるという例を児童に紹介し、具体的な場面を想起して考えることができるようにする。	メディア の特性④
	3,4	映像や音がどのように工夫されているか調べる。 ・「ヤマト運輸往復宅急便」「サッポロ黒ラベル」のCMを分析する。	・空港にラクダを連れていったのだろうか、それとも合成だろうか ・画面の中の文字が大切な情報を伝えている ・いろいろ難しそうな技法を使っているようだ	・CMを分析しやすいように、ワークシートの項目を吟味し、また、大画面で繰り返し見れるようにする。 ・児童が持った疑問（合成か否か）については、後の時間で解決できるようにする。	
	5,6	カメラワークによる情報の伝わり方の違いを考える ・先生たちが作った2種類のビデオ作品を比べる。 ・テレビとの上手なつきあい方を学んでもらうための番組「テレビキッズ探偵団」を視聴する。	・同じ時間で撮影しても、全然違うなあ ・撮影の仕方や、編集の仕方ですべての作品になる ・ディレクターが映像を作るときには、それぞれの意図があるんだな	・「意図を持った番組」を実際に教師が制作し、二つの作品を比較して考えることができるようにする。 ・ビデオ1と2それぞれの制作者が、その意図を説明する。 ・ビデオを見ることにより、番組の意図についての理解を深める。	映像メ ディアの表 現技法②
	7,8	映像の合成についての番組（体験メディアのABC）を視聴する。	・放映された番組はいろんな方法で加工されているんだな ・CMで登場した動物たちも、きっと合成されているだろう	・ビデオ視聴により児童の疑問を解決できるようにする。	映像メ ディアの表 現技法①
	9	視聴率について、メディアのプロの考え方を知る。	・視聴率っていうのは支持率と同じなんだな ・良くないイメージが少し変わった ・いろんな見方がある	・番組制作のプロの談話を紹介し、視聴率についての多面的な見方が持てるようにする。	

次	時	活 動 の 流 れ	子どもの意識の流れ	教師の支援	評価
第2次 テレビの仕組みメディアの仕組み	10 11 12 13	『テレビ番組と人権』について考える。 ・ある人気バラエティ番組を取り上げ、良いところ、良くないところを考える。 ・パネルディスカッションを行い、いろいろな立場からの見方を話し合う。	・この番組は問題があるのだろうか、問題ないのだろうか ・自分だったら見続けたいか、そうでないのか ・理由をきちんと説明して、説得力のある意見を言おう ・反対の立場の人の意見ももっともだ ・いろんな意見があるが嫌だなと感じる人は確かにいるんだな	・児童のアンケートから実態を掴み、検討するにふさわしい番組を選ぶ。 ・パネルディスカッションを通して、異なる立場の意見を聞き、自分の意見と比べたり自分の考えを広げたりすることができるようにする。 ・パネラーだけでなく、フロアーの意見も多く求め、多くの意見交流ができるようにする。	情報と人権③ 情報に対する態度⑤
第3次 金浦発 テレビ番組 & Webページ	1 2,3 4 5 6	ニュース番組を観察する。 ・自分なりの視点を持って、ニュース番組を観察する。 ・観察結果について交流する。 ・全員共通で報道番組を視聴し、感想を交流する。 これまでの学習を生かしたテレビ番組とWebページをつくる。 ・各番組・Webページのディレクターを募集する。 ・ディレクターを決め制作会議を行う。	・以前のテレビ観察で見つけた工夫が、ニュース番組でもあった ・テロップを効果的に使っていた ・出演者の人の表情が工夫されていた ・テレビ番組とWebページ、どちらをつくってみようなか ・ディレクターは責任が重そうだがやってみたいな ・自分はどんな番組を作りたいか	・番組製作の前に実際の報道番組をみることで児童がこれからの活動のイメージを持ちやすくする。 ・児童が観察可能な時間帯のニュース番組を紹介することで、スムーズな観察が行えるようにする。 ・ファイルをめくって以前のテレビ観察を振り返るよう支援し、はじめのテレビ観察が今回に生かされるようにする。 ・小学校のWebページをいくつか紹介し、活動の見通しを持たせるとともに、意欲的にディレクターに応募できるようにする。	映像メディアの表現技法①

次	時	活 動 の 流 れ	子どもの意識の流れ	教師の支援	評価
第3次	7,8 9 10	・メンバーを募るためのプレゼンテーションの準備を行う。 各ディレクターによるプレゼンテーションを行い、どのグループに加わりたいかを決める。	・金浦以外の人や、小学生ではない人が見るんだったらどんな番組がいいか ・紹介するWebページはどんなものがいいか	・ディレクターの企画が分かりやすくなるようプレゼン資料の工夫を支援する。	表現⑨

＜ビデオ番組制作班＞第3次第11時～

第3次 金浦発 テレビ番組 & Web ページ	11	各グループで制作会議を行ない、テーマを決め活動計画を立てる。	・どんな番組を作ろうか ・そのためにはどんな映像が必要だろうか	・一つのテレビ番組を作ることをイメージさせ全体のテーマを導き出す。	メディアによるコミュニケーション⑫ 表現⑪ 情報の収集・分析⑮ 情報モラル⑧ 情報の収集・分析⑯⑰
	12	番組のあらすじを考え絵コンテを描く。	・どんなカットをとろうかな ・インタビューをする相手に頼みに行こう	・撮影のイメージがわくように絵コンテの描き方を助言する。	
	13 14	撮影機器の使い方や撮影技法を知る。	・カメラはどのように使うのだろうか ・三脚を使う ・光に気をつける ・ピントを合わせる ・ズームは最小限にする	・「体験！メディアのABC」の「ビデオの撮影」「インタビュー」を視聴させ、撮影の技法や機器の使い方を知らせる。	
	15 20	撮影をする。	・インタビューの申し込みに行こう	・インタビューのコツを再度詳しく知らせる。	
	21	番組制作中間チェックをする。	・どんな映像が撮れているかな ・テーマにそったシーンが集まっているかな	・テーマに迫るための映像が撮れているかどうか絵コンテを見ながら確認するよう助言する。	
	22 24	撮影をする。	・もう一度撮り直しをしよう ・まだ撮れていないシーンがあったよ	・足りないシーンがあれば撮影の続きをさせる。	
	25 29	編集を行う。	・たくさん撮ったけどどのシーンを使おうかな ・音声は聞こえるかな ・どのシーンでアフレコが必要かな	・アフレコのタイミングや内容を考えさせる。	

次	時	活 動 の 流 れ	子どもの意識の流れ	教師の支援	評価
第 3 次 金 浦 発 テ レ ビ 番 組 & W e b ペ ー ジ	30	Webページの中間審査をする。	・自分たちの活動をどのように伝えているのだろう	・「かしこい視聴者になるために」「分かりやすい文章」「分かりやすいレイアウト」などの観点を意識できるようにする。	情報モラル⑦
	31 32	ディレクター会議をする。	・番組を審査してもらう 「審査表」を作ろう ・どんなことに気をつけて番組を作ってきたかな ・グループで見てもらって清書をしよう	・「審査表」の観点を導き出すためにファイルを見返し、今までの学習を想起させる。	情報モラル⑦
	33	審査会での質問を予想し答えを考えておく。	・どんな質問が出るかな ・自分たちの番組でうまくいったところ、足りないところはどこかな	・テーマは何か、それを伝えるためにどんな工夫をしたのかを確認させる	
	34 35	審査会を行う。	・番組の長さはどのくらいだろう ・思っていたとおりの質問が出たかな ・なるほど、そこに気をつけて編集し直そう	・番組は制作途中でありこの審査会で作り直す視点を見つける野だと言うことを告げる。	情報に対する態度⑥
	36 37	編集し直す。	・審査会で指摘されたことを参考にして編集し直そう		発信・伝達⑮⑯
	38	Webページ番組制作発表会をする	・できあがった作品を見てもらおう ・外部の人にも見てもらおう 特別ゲストのお二人に観てもらおう ・どうやって観てもらおうかな	・だれに、どんな方法で観てもらおうかと問いかけ情報手段を選択させる。	適切な情報手段の利用⑳
	39	学習のまとめテストをする。	・テストに挑戦しよう		
	40	「マスメディア探検隊」学習のまとめをする。	・この学習で何を学んだのかな どんな力がついたのかな ・自分で学習のまとめをしよう	・この学習でどんな「メディアを読み解く」がついたかを評価する。 ・この学習の自己評価をさせ、どんな力が身に付いたか、まだ不十分な点は何かを明確に持たせる。	

<Web ページ制作班>第3次第11時～

次	時	活 動 の 流 れ	子どもの意識の流れ	教師の支援	評価
第3次 金浦発 テレビ番組 & Web ページ	11 12	各グループで制作会議を行ない、活動計画を立てる。 取材をはじめる	・どんなことをWeb ページに載せようか ・そのためには、いつまでに何をしようか ・どんな場面の写真を写そうかな ・インタビューする相手に頼みに行こう	・話し合いによって各グループの活動計画表を完成させ、活動の見通しをもつようにする。	
	13 14	インタビューの仕方やWeb ページの作り方を知る。	・いつ、どこで、だれが、何を、どのようにして、どうなった、を分かりやすく取材し伝えなければ ・一目で伝えられる写真 ・見出しは大切な情報 ・文は短く分かりやすく ・レイアウトを工夫して	・「体験！メディアのABC」の「インタビュー」「写真と文章」を視聴し、取材の仕方や記事の作り方を学ぶようにする。 ・用意したワークシートへ記入させることによって、知識の定着を図る。	
	15 16 17 18 19 20	取材をしながらWeb ページを制作する。	・今まで学習してきたことを振り返りながらまとめよう ・番組制作班はどんなことを伝えようとしているのだろう ・下村さんは視聴率についてどのように考えておられるのだろう	・ポートフォリオを見返しながら自分たちの学習してきたことを振り返ったり、番組制作班に取材をしたりしてWeb ページの内容を充実させていくようにする。 ・下村さんの御都合により質問は電子メールで送るように助言し、進んで活用できるよう促す。	情報の収集・分析⑮ 表現⑩
	21	ディレクター会議でWeb ページの第1回評価会議をする。	・分かりやすい記事の内容やレイアウトになっているかな ・どのような色遣いや文字の大きさが読みやすいのだろう ・学習が生かされた内容になっているかな ・見る人の立場に立って作れているかな	・かしこい視聴者になるための学習をしてきた私たちだからこそ作れるWeb ページになっているかどうかという観点を与え、より価値の高い情報を作り出そうとする意欲を引き出すようにする。	表現⑩ 情報モラル⑧

次	時	活 動 の 流 れ	子どもの意識の流れ	教師の支援	評価
第 3 次 金 浦 発 テ レ ビ 番 組 & W e b ペ ー ジ	22 ～ 24	評価会議で話し合ったことを生かして取材と制作をする。	- 相手の立場に立って記事を作ろう - かしこい視聴者になるための学習を生かそう - いつ、どこで、…を分かりやすく表そう	- ねらいが達成できたかどうかを自己評価する - チェックシートを毎時間記入することによって、制作意図を見失わず活動できるようにする。	映像メディアの表現技法①② 情報と人権③ メディアの特性④ 情報の収集・分析⑬⑭
	25	ディレクター会議で審査表を作成する。	どんな観点で審査してもらいたいか考えよう	「審査表」の観点を導き出すためにファイルを見返し、今までの学習を想起させる。	情報モラル⑦
	26 27	番組制作班も含め全員でWebページの中間審査をする。	- 自分たちの学習してきたことを、他の班の人たちはどのように伝えているのだろう - 番組制作班の人がしていることを分かりやすくまとめているかな	表をもとに全員が審査することによって「かしこい視聴者になるために」「分かりやすい文章」「分かりやすいレイアウト」などを観点を意識できるようにする。	
	28 ～ 32	中間審査の結果を生かして取材や制作をする。	- もう少し取材をして記事をつけ足そう - レイアウトをもう一度工夫しよう - 分かりにくい文章を直そう	全員から返された審査表に書いてあることを生かしながら、制作意図を見失わないように活動させていく。	情報に対する態度⑥
	33	番組審査会を控え、ビデオ作品の評価の仕方を考える。	- 昨年作ったカブトガニのビデオ作品をもう一度評価しよう - テーマがちゃんと伝わる作品になっているかな - 何のためにこんな映像を入れているのだろう	審査会に实际使う審査表を見ながら昨年度作ったビデオをチェックすることによって、作品を評価する視点を自分なりにもつことができるようにする。	
	34 35	番組審査会を行う。	- 番組の長さはどのくらいだろう - テーマを伝えるためにどんな工夫をしているのだろう - もっとこのようにすれば分かりやすいのに	番組は制作途中でありこの審査会で作り直す視点を見つけるということを告げる。そしてそのためにも積極的に気づいたことを出し合わなければならないということを意識させる。	映像メディアの表現技法①② 情報と人権③ メディアの特性④ 情報の収集・分析⑬⑭

次	時	活 動 の 流 れ	子どもの意識の流れ	教師の支援	評価
第3次 金浦発 テレビ番組 & Webページ	36 37	取材と制作を行う。	・下村さんに取材したことや審査会の様子もWebページにまとめよう ・いろいろな人にいただいたアドバイスを生かしてページを直そう	・この時までにWeb上に制作途中のページを掲載し、専門家の方に評価をしていただく。そして、仕上げの作業に生かすようにする。	発信・伝達 ^{⑱⑲} 適切な情報手段の利用 ^⑳ 情報に対する態度 ^㉑
	38	Webページと番組の制作発表会をする。	・できあがった作品を見てもらおう ・外部の人にも見てもらおう 特別ゲストのお二人に見てもらおう ・どうやって見てもらおうかな	・だれに、どんな方法で見てもらおうかと問いかけ、情報発信の手段を選択するようにする。	
	39	学習のまとめテストをする。	・テストに挑戦しよう	・この学習で身についた「メディアを読み解く力」を評価する。	
	40	「マスメディア探検隊」 学習のまとめをする	・この学習で何を学んだのかな どんな力がついたのかな ・自分で学習のまとめをしよう	・この学習の自己評価をさせ、どんな力が身に付いたか、まだ不十分な点は何かを明確に持たせる。	